

# 外国語活動学習指導案

平成30年 月 日 校時

年 組 指導者

A L T :

## 本時の視点

”You can ～.”を用いて前橋市の魅力をよりよく伝えるために、その根拠について英語表現を用いて互いに紹介したり、質問し合ったりする活動を取り入れたことは有効であったか。

## I 題材名 I like my town. [Maebashi city]

## II 考 察

### (1) 題材の価値 (設定の理由)

- 「I like my town.」では、自分たちの住んでいる市の、魅力について紹介する題材である。自分たちが住んでいる前橋市の魅力をもっと知ってもらいたい、分かってもらいたいという気持ちから、前橋市の魅力や自分たちもまだ知らない魅力を調べ発見し、伝え合う活動を通して、その魅力を伝えていく。そして、伝える相手は前橋市の住人であるお家の人に行く。家的人是、前橋市の魅力を知っているが、それだからこそ、子どもたちが英語で伝えた魅力が一致し、伝えられたことを理解してもらえる。また、英語で伝えられる前橋の魅力を新鮮に感じたり、新たな発見をしたりすることに繋がる。そのようなことから、子どもたちは、お家の人にも伝わるように前橋市の魅力を伝えたいという目的意識をもつことができる。さらに、伝えたいという意識から、自らの表現がきちんと伝わるのかを繰り返し確認すると共に、お家の人からその表現を評価してもらうことで、自らの学びの振り返りを行うことができる。

また、この学習は、現在、総合的な学習で進めている「前橋市の魅力を探そう」という自分たちの住んでいる市の、魅力を探求する活動と平行して進められている。群馬県の魅力度ランキングは下位である。その群馬県の県庁所在地でもある前橋市の魅力を知ってもらうために、自分たちに何ができるかを考える。このように、自分たちの市のことをよりくわしく調べ、整理し、活用して発表する学習と合わせて、教科横断的な視点からも進めていくこともできる。

- “We have ～.”や“You can ～.”は今までの単元で学習してきた表現であり、動詞の後の表現は自分の思いを入れ込んだ自らの表現になる。また、お家の人に伝えるために、繰り返し表現について話し合う必要もあることから、根拠となる表現に慣れ親

しむことができる。また、友達の発表を聞き、リアクションを返すことで、その表現が評価され、よりよい表現になっていく。つまり、これらのやり取りを行うことで、実際に使うことができるコミュニケーション能力を身に付けていくことができる。

## (2) 児童の実態

- ・本学級の児童（男子 名、女子 名、計 名）

このような実態から、導入時に総合的な学習と連携した単元であること、その学習の発表をする際に英語でお家の人に伝えることを確認することで、目的意識をもち学習に取り込むことができる。

## (3) 題材の系統

ここでの学習は、6年「What do you want to be?」において、「I can play the piano.」等の英語表現を用いて、将来就きたい職業などについてプレゼンテーションをする学習へと発展していく。

## III 目 標

お家の人に前橋市のよさが伝わるように、毎時間子どもたち同士で自らの表現が他者に伝わるようになっているのかを確認する活動を行うことで、自ら進んで英語で前橋の魅力を伝えたり聞いたりする姿を育てる。

## IV 評価規準

○評価の観点

- 1 友達や ALT、お家の人に伝わるように、英語表現を用いて前橋市の魅力を発表している。
- 2 前橋の魅力についての英語表現を選んだり組み合わせたりして伝えている。また、前橋市の魅力を伝える文を書いている。
- 3 前橋市の魅力を表す英語表現について理解を理解している。

## V 指導方針

- 1 前橋市の魅力をお家の人に伝えるために、どのようにすればよいかという目的意識をもたせ、課題を設定していく。また、各単位時間にその課題解決に向けて、めあてを設定し、振り返りをする。
- 2 ペア活動や学級全体で取り組む、相手を意識した活動に加えて、フラッシュカードは絵と文字が描かれたものと、文字だけのフラッシュカードを使い、文字だけでも読めるよう、繰り返し英語の音声を聞いたり発音したりする活動を設定する。また、前橋市の魅力を伝える文を書く活動を設定する。
- 3 前橋の魅力についてお家の人に伝えることができるように、繰り返し自らの表現を振り返る活動を設定する。

#### VI 指導計画（全8時間計画 本時は4時間目）

時間	ねらい	主な学習活動	評価項目（評価方法）
1	○「前橋を知っているお家の人に前橋市の魅力が伝わるような、○○を作ろう」という課題を設定する。	○ALT の住んでいる町の魅力を聞いて、必要な英語表現について話し合い、課題を設定する。	○前橋市の魅力について発表するのに必要な英語表現について発言したり記述したりしている。 (コ)
2	○前橋市の魅力のものを伝える”We have ～.”の表現を使うことができる。	○前橋市にある建物や施設、制度などについて伝え合う。	○建物や施設、制度などを表す英語表現を英語の音声で発音したり聞き取ったりしている。 (慣)
3	○前橋市の魅力を説明する”Okirikomi is local food.”などの表現を使って説明できる。	○前橋市の魅力の大まかな説明となることを話し合い、伝える。	○前時の英語表現と共に、自らの表現を友達に伝えている。 (気)
4 (本時)	○前橋市の魅力についての根拠となることを”You can ～.”の表現を使って伝えることができる。	○根拠となる英語を使って、友達に聞いたたり答えたりする。	○根拠となる英語表現を尋ねたり答えたりしている。 (慣)
5	○店舗数や営業時間などの数字が入った根拠となることを伝えることができる。	○根拠となる数字の英語表現を知る。	○根拠となる数字を発音したり聞き取ったりしている。 (気)

6	○前橋市の魅力を強調する”～ is great.”などを使ってより魅力を伝えることができる。	○より魅力が伝わるように、尋ねたり答えたりする。	○より前橋市のよさがわかる魅力を伝えている。また、例を参考に文を書いている。(慣)
7 8	○総合の発表と共に、前橋市の魅力を発表できる。	○総合の発表と共に、英語で発表する。	○前橋市の魅力を伝えたり、お家の人に伝わったことの楽しさやを発言したり、記述している。(コ)

## VII 本時の学習

### (1) ねらい

○前橋市の魅力をよりよく伝えるために必要なことを考える活動を通して、”You can ~.”を用いた英語表現を使って魅力の根拠を伝えることができる。

### (2) 準備 フラッシュカード、プリント

### (3) 本時の展開

時間	学 習 活 動	指導上の留意点・支援 <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 20px; vertical-align: middle;"></span>
5 分	1. 本時のめあてをつかむ。	○前時までに学習した英語表現や前橋市の魅力を想起できるように、前時の振り返りシートを確認するよう促す。
15 分	2. 前橋の魅力をより伝えられるようにするための英語表現を取り込む。 (1)ALT と発音練習をする。 (2)キーワードゲームをする。 ※ride,enjoy,get,eat,see,use が書かれた用紙におはじきを置き、キーワードが聞こえたらそのキーワードのおはじきをとる。	○よりよく前橋市の魅力を伝えるために必要なことを考えるという本時の見通しをもてるように、「なぜ、魅力なのか」「何が出来なのか」等、その根拠を問いかける。 ○根拠を伝えるための英語表現を知ることができるように、英語表現の書かれたフラッシュカードを提示し、ALT の後に続いて発音するよう促す。 ○絵文字の入ったフラッシュカードと文字のみのフラッシュカードを用い、文字と発音が一致できるように、繰り返し発音するキーワードゲームをするよう助言する。
20 分	3. 魅力であると考えられる根拠を紹介し合う。	○魅力と考えた根拠を繰り返し伝えられるように、友達同士で質問し合う場を設定する。その際、互いにリアクションワードを意識しながら質問し合うよう助言する。

<p>5 分</p>	<p>4. 本時のまとめをする。</p>	<p>○根拠をより詳しく伝えられるように、英語表現を付け加えたり、伝え方を工夫したりしている子どもを紹介する。</p> <p>○自らの表現に自信をもてるように、自信をもって前橋の魅力の根拠を伝えている子どもを賞賛する。</p> <p>○根拠を伝えるための英語表現を振り返ることができよう、振り返りシートに、めあてに対しての自己の成果や課題を記述するよう促す。その際、視点として「使えるようになった英語表現」や「さらに、出来るようになりたいこと」などを提示する。</p> <p>○次時の活動への見通しがもてるように、より詳しく紹介するためには、その場所の開始時間や終了時間を伝える必要もあることを伝える。</p>
----------------	----------------------	---

評価項目

前橋市の魅力の根拠を友達に伝えたり、  
聞いたりしている。 〈慣〉

VIII 年間指導計画（別紙参照）